



TAKATSU NETWORK

医療法人 社団 亮正会 総合高津中央病院
川崎市高津区溝口1-16-7 TEL 044-822-6121
http://www.takatsuhosp.or.jp

新

高津中央病院だより

(財)日本医療機能評価機構認定病院

2018年◆秋号(2018年11月発行)

Vol.62

季節の写真館「大山街道ふるさと館」川崎市高津区溝口 3-13-3
大山街道にまつわる貴重な歴史的資料などを保存・展示



総合高津中央病院 理念・基本方針

理念

医療を通じて地域社会に貢献します

基本方針

1. 地域の皆様に愛される病院、親切、迅速、奉仕について最善の努力をします
1. たゆみない研鑽と医道の高揚に努め、安全で質の高い開かれた医療の提供をめざします
1. 地域の救急医療に全力で対応します
1. 保健、福祉の全面的な支援を行います

巻頭言

生涯の健康段階に シームレスな看護を目指して

看護部長 雨宮 みち



私は昨年10月に総合高津中央病院の一員とさせていただきます、本年4月、看護部長に就任いたしました。

日本はあと8年足らずで、団塊の世代が全員75歳以上となる2025年を迎え、5人に一人が75歳以上、3人に一人が65歳以上という、かつて経験したことのない超高齢社会に突入します。国は「病院完結型」の医療から、自宅や地域で治す「地域完結型」の医療への政策転換を進めています。当院は地域の方、お一人おひとりの健康で快適な生活を支えるために、保健、医療、福祉の三分野の統合により、地域におけるトータル医療サービスを提供する医療法人の病院として、開院から60余年ずっと地域の皆様により沿い、その役割を担っております。

これを強みとして、看護部は「地域社会の患者様、ご家族のニーズに合った、心のこもった質の高い看護を提供する」ことを理念に掲げ、「自立」「創造」「協働」をキーワードに、癒し癒され共に学ぶ「ケアリング」とおもてなしの心「ホスピタリティ」を大切にして看護を実践しています。看護の価値は、対象となる人々をどのような健康状態であっても、人生

を生きる一人の個人として総合的にみることで、つまり、疾病をみる「医療」の視点だけでなく、生きていく営みである「生活」の視点を持って「人」をみることにあります。

当院では、今後より一層地域の皆様に必要とされる病院として役割を果たしていくことを目指し、地域包括ケア病棟を設立しました。看護部は、患者支援・医療連携センターをはじめ、すべての部門と連携・協働してこれを推進し、「健やかに生まれ育つ」「健康に暮らす」「緊急・重篤な状態から回復する」「住み慣れた地域に戻る」「疾病、傷害とともに暮らす」「穏やかに死を迎える」といった人々の生涯にわたり、すべての健康段階で切れ目のない看護の提供を目指します。

新任の看護部長として、重責ではありますが、今まで培ってきた総合高津中央病院のマインドを引き継ぎ、真剣に取り組んでまいります。今後も引き続き、皆様方のご指導、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

人工透析センターのご案内

人工透析センターでは現在、慢性腎臓病患者さまの栄養、筋力、循環、呼吸、骨粗鬆症など「トータルケア」に取り組み、透析患者さまの健康寿命改善を目標に診療を行っています。その中心に考えているのが、「栄養状態」です。透析に至った慢性腎臓病の患者さまは、栄養状態が悪く、蛋白摂取不良、エネルギー摂取不良から「サルコペニア」「フレイル」と言われる寝たきりになるような筋力低下、身体機能低下をきたす方が多く存在します。寝たきりにならないような筋力の維持には栄養状態改善と運動が極めて重要です。しかし、食事摂取過多に対するデータ異常は容易に評価できますが、栄養不良の患者さまの評価はなかなか難しく、そのような患者さまのデータは正常であることが多く、かえって「優秀な患者さま」と評価されてしまいます。データが良い患者さまの中に、栄養不良の患者さま、つまりしっかり食べていないからデータは見かけ上良好ではあるが、実は栄養が足りない患者さまを見つけ出す努力が必要となります。我々はそのような栄養不良の患者さまを普通のデータに加え、さらに様々な角度のデータや評価方法を使い、どの程度栄養摂取ができたのか具体的に評価を行い、患者さまに指導を行っています。

また、さらになぜ栄養摂取できないのか？高齢化社会では栄養摂取できない理由が様々存在します。歯が悪いから良く噛めない、調理するにも一苦労、外出頻度が少なく、買い物に行ける範囲にお店が少ない、摂取品目に偏りがあるなど、患者さまの個々の状況を知ることが重要です。このような患者さまへの理解を深め、継続的に栄養状態を維持するよう透析専門医、経験豊富な看護師、臨床工学技士による、チーム医療に励んでいます。

良いデータを達成することを優先するのではなく、まずしっかり食べて、しっかり治療。その結果良いデータを達成するという取り組みこそ寝たきり防止に繋がります。当院でのオンライン HDF、超洗浄化透析液（ウルトラピュア）、無酢酸透析液（アセテートフリー）など先進的な透析治療と合わせ、透析を行っていても元気に通院できる、そのような患者さまの支えとなるよう努力しています。

部長・センター長
向井 一光



【腎臓内科】

日本内科学会認定内科医
日本腎臓学会専門医、指導医
日本透析学会専門医、指導医

◆当センターの特色

1. 総合病院内の透析施設であり、人工透析導入から検査、入院、他科受診などワンストップで可能
2. お仕事をされている方のための夜間透析の実施
3. 心臓血管センターと連携に取り組み、特に足の病気に関する入院透析にも積極的に取り組む体制

◆高い技術を持つ専門医とスタッフ

日本透析医学会専門医制度に基づいた昭和大学病院の教育関連施設に認定日本透析医学会指導医・専門医と昭和大学腎臓内科から非常勤医師を招聘しチーム医療に励んでいます
豊富な知識と経験を持つ看護師（透析認定士1名）、臨床工学技士（透析認定士4名）が従事いたします



◆充実した最新透析設備

超洗浄化透析液（ウルトラピュア）、無酢酸（アセテートフリー）透析、高性能ダイアライザーの使用など安全かつ先進的な透析を施行

◆幅広い特殊血液浄化に対応

- ・潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患に対する顆粒球吸着療法（GMA）の施行
- ・閉塞性動脈硬化症に対する LDL アフェレーシスの施行

◆旅行透析

随時受付けをしております。お気軽にお問合せください。

◆透析スケジュール

	月	火	水	木	金	土
9:00～	○	○	○	○	○	○
13:30～	○		○		○	
17:00～	○		○		○	

◆設備

- ・ on-line HDF9 床を含む透析ベッド数 25 床
- ・ 全てベッドで対応、液晶テレビを完備
- ・ 眺めも良く清潔感のあるセンターに待合室、更衣室、ロッカーを併設

◆お問合せ

（人工透析センター直通）

TEL 044-822-6729

FAX 044-822-8313



名前

たかの ゆうた
高野 裕太

専門領域

一般外科
上部消化管外科

卒業大学

東京慈恵会医科大学

自己紹介

10月からお世話になります高野裕太です。精一杯がんばります。よろしくお願ひいたします。

卒業年度

平成 20 年



高津中央インフォメーション

◆秋季防災訓練を実施しました!◆

防災対策委員会

今年6月の春季総合防災訓練に続き、10月31日(水)に、川崎市高津消防署立ち会いのもと総合防災訓練を行いました。

17時から、深夜23時に地震と病棟での火災発生を想定した、消防署通報、初期消火および患者さまの避難誘導の総合訓練を行いました。

訓練終了後、参加者全員で反省会を行い、高津消防署からの講評では各職員の防災への取り組み姿勢にお褒めの言葉をいただきました。

翌日は、指定避難所への職員誘導訓練も行いました。今後も病院挙げての更なる防災対策に取り組んでまいります。



看護部 トピックス

看護フェスティバルを開催して

第27回「看護フェスティバル」を「愛・希望・健康・思いやり」をテーマに掲げ、5月13日に実施しました。このイベントを通して地域の皆様と交流を図りながら、健康管理や保健指導を行い、地域社会に貢献できるよう看護部が中心となって行っています。栄養部、薬剤部、臨床検査部、リハビリテーション部、事務部、そして、訪問看護ステーションにも協力を得て取り組んでおります。

参加された方から「毎年楽しみにしています」「いつも来ているよ」とお声をかけて頂き、私たちも励まされ楽しい時間を過ごす事ができました。

「血管年齢測定」は毎年好評であり今年度も多数の方が測定に来られました。測定値が実年齢より



若かった方は喜ばれ、実年齢より高く出た方も、熱心に健康相談を受けられて



いました。また、新しい企画として理学療法士に協力を得て「ロコモチャレンジ」のコーナーを設けました。実際体験する時間もあり18名と多くの方が参加をしていました。

昨年度から協力をいただいている訪問看護ステーションからは、「訪問看護について」「介護保険について」のDVDを使用し映像とあわせて説明が行われ熱心に聞かれていました。

当日は、大盛況の中、延べ人数1,010名(昨年比+222名)と多くの方に来院していただきました。今年度は記念として病院名と看護フェスティバルと印字されたボールペンを参加された方に配り病院のPRになったと思います。

毎年、このイベントを楽しみにされている方も多く、次年度も地域の皆様の期待に応えたいと思います。



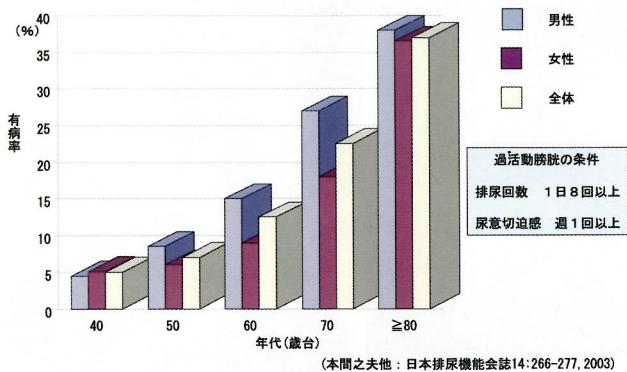
おしっこは近くありませんか - 過活動膀胱 -

◆ 過活動膀胱とは

過活動膀胱は「急に我慢できないような尿意が起こる」(尿意切迫感)を必須症状とした症状症候群です。

他に主な症状は、「トイレが近い」(頻尿)「夜何回もトイレに起きる」(夜間頻尿)「急にトイレに行きたくなり、我慢ができず尿が漏れてしまう」(切迫性尿失禁: UI) があります。

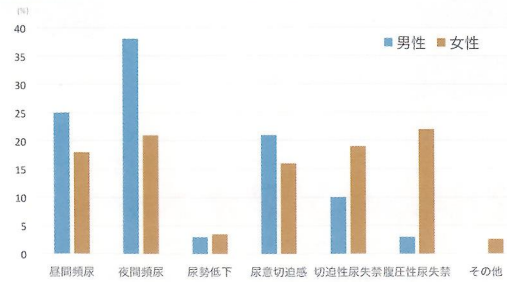
◆ 過活動膀胱の年齢別、性別有病率は?



40歳以上では、8人に1人ぐらいに過活動膀胱の症状を持っています。男性では、前立腺肥大症患者の50-75%に過活動膀胱症状があるとされています。

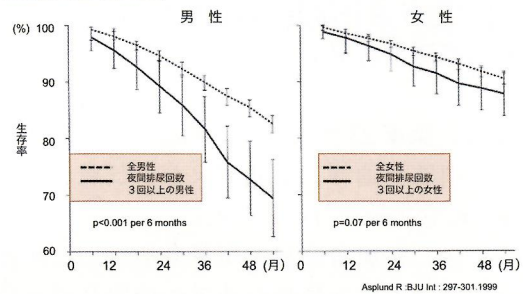
◆ 排尿症状の日常生活への影響は?

下部尿路症状 (LUTS) の生活支障度



◆ 高齢者男性の夜間頻尿は寿命に影響する

夜間頻尿と生存率



スウェーデンにおける70歳以上の方の調査では、夜間頻尿を伴う高齢者男性で、生存率が低下しています。

おしっこでお困りの方は、ぜひ、泌尿器科受診を!

個人情報保護方針

情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。

総合高津中央病院では、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

① 個人情報の収集・利用・提供

個人情報の保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

② 個人情報の安全対策

当院では個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講ずること

により、個人情報の安全性・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

③ 個人情報に関する法令・規範の遵守

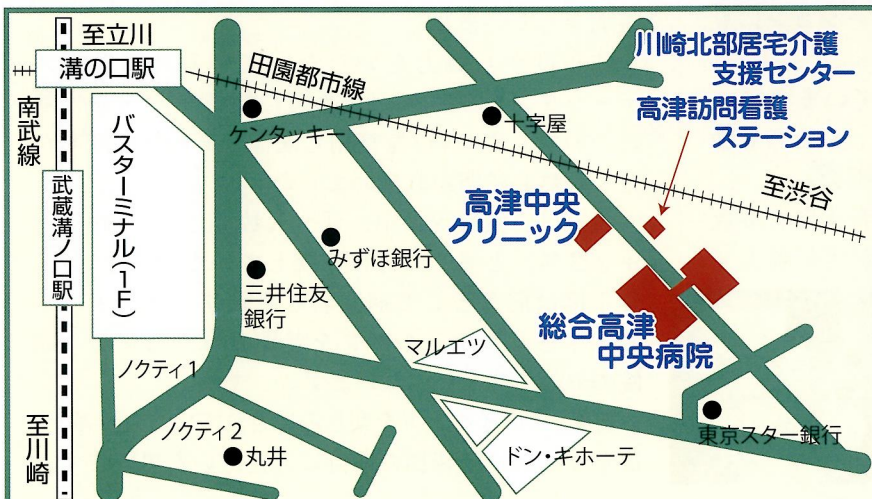
当院では個人情報に関する日本の法令、国の定める指針その他の規範を遵守します。

④ 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則(主に運用ルール等)を継続的に見直し、改善します。

⑤ 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別途、当院個人情報管理規定に定めます。



▶ 総合高津中央病院

川崎市高津区溝口 1-16-7
TEL (044) 822-6121 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp>

▶ 高津中央クリニック (健診)

川崎市高津区溝口 1-16-3
TEL (044) 822-1278 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp/clinic/>

▶ 川崎北部居宅介護支援センター

川崎市高津区溝口 1-17-5
TEL (044) 822-6159

▶ 高津訪問看護ステーション

川崎市高津区溝口 1-17-1
TEL (044) 822-1287